

寺報

No.630

令和2年2月

蓮華寺
發行

御聖訓

一切いっさいの善根ぜんこんの中うちに孝養こうよう父母ぼだい第一いちにて候うごなれば、まして法華ほけ經ぎょうにてをはす。金こがねのうつわものにきよき水みずを入いれたるがごとく、すこしももるべからず候。

『窪尼御前御返事』



(解説)

日蓮大聖人の残されました御遺文を拝見しますと、沢山の親孝行の事が書かれた箇所が見つかります。大聖人は布教の拠点である、千葉・鎌倉・佐渡そして身延山におきましても、決してご両親の事を忘れる事はありませんでした。

しかし、布教の為に故郷を離れていたもので、終にはご両親の死には立ち会う事が出来なかったのです。ですから、何としてもご両親のご供養を一生懸命にして、その恩に報いたいと考えられたのです。

まして、ご両親は大聖人の最初のお弟子になられた方々ですので、その孝行したい気持ちには人一倍強かったものと思われれます。

文章の中で「まして、これは唯の父母孝養ではなく法華經の信仰を元とされたのであるから、まさに黄金の器に清き水を入れたような、本当に完璧な孝養といえる。」と力説しているのがお分りになります。

法華經・お題目で、亡くなられた方々の菩提を弔う事こそが最高のご供養といえるのです。

節分会のお知らせ 二月三日(月)

午後六時開始

男性大厄	数え二十五歳	平成八年生れ
	数え四十二歳	昭和五十四年生れ
女性大厄	数え十九歳	平成十四年生れ
	数え三十三歳	昭和六十三年生れ
年男・年女 (子年)	大正十三年生れ	
	昭和十一年・二十三年・三十五年・ 四十七年・五十九年生れ	
	平成八年・二十年・令和二年生れ	
その他	・前厄・後厄(厄年の前後)	
	・還暦(六十一歳)・古稀(七十歳) ・喜寿(七十七歳)・傘寿(八十歳) ・米寿(八十八歳)・卒寿(九十歳) ・白寿(九十九歳) いずれも数え年です。	
	・今年ご祈祷希望者はどなたでも受けられます。	

★厄払い・三千円

◎豆まき◎祈願読上げ
◎ご祈祷◎厄札◎絵馬
◎福豆のお土産等

(注)ご本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・衣類等、身に着ける物をご持参下さい。

★一般祈願・千円 (◎節分札◎祈願読上げ)
【随時受付中】



当山蓮華寺では、本年大厄(前厄・後厄も含む)に当ります男女、また千支の子「ねずみ」年に当ります年男・年女、更に今年特別にご祈祷を希望する方々に、まず厄払いのご祈祷とお加持を受けて戴き、次に豆まき(落花生)、最後に絵馬と厄除けのお札、お土産をお渡し致します。この時、お渡しする「絵馬」は、その場合後でも差し支えありませんが、住所・氏名・数え年、そして一年間の願い事を書いてお寺にお納め下さい。お寺ではこれを一年間、大本堂の御寶前に奉納し毎朝祈願のお経をお上げします。

また、厄除けのお札はご本人が寝ている部屋の柱の上の方に、一年間貼って下さい。向きは、寝ている頭の方が最もよろしいでしょう。必ずお願い致します。

厄払い

私達が一生の中で、特に災難に遭う恐れが多く、慎みたい年を『厄年』といいます。男性は二十五歳と四十二歳、女性は十九歳と三十三歳の、いずれも数え年を『大厄』といい、またその前後の年を『前厄』『後厄』といいます。この三年間を慎しむ風習が昔からあります。厄年に当る人が、神仏の前で厄災の起こらないようにと祈念する行事を「厄払い」、また除厄祈祷といいますが。

日蓮大聖人は、法華経を信仰する事で「三十三の厄、転じて三十三の幸いとならせ給うべし」と教えられ、昔から信者の厄年の男女は、法華経お題目の力によって除厄得幸を祈ってききました。当山では、厄年以外の今年【子年】の『年男・年女』また『還暦』『古稀』『喜寿』『傘寿』『米寿』等、更に

☆霊断

その年の除災を願う方々は、どなたでもご祈祷を受ける事が出来ます。また一般の参拝の方々は、除厄された方よりまかれる豆を拾い、今年の福を分けてもらって下さい。どうかご家族、ご友人をお誘いの上、ご参拝下さい。

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【相談料は原則として三千円となります】

☆『ちようちん』の募集!

当山で「お正月」「鬼子母神大祭」「御会式」の際に境内に下げます『提灯』(トローラー)を募集しています。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

大本堂

『須弥壇』
『鬼子母神・妙見様御厨子』
『大黒様御厨子』

ご寄付のお願い

今年六月二十一日(日)日蓮大聖人のお誕生日【御生誕】八百年記念の東北教区大法要が、日蓮宗の管長【管長】を御下にお迎えしまして、当山で厳修されます。

その記念事業としまして、当山では大本堂御寶前の前の『須弥壇』(前机)と両脇にお祀りしています『御厨子』の修復工事を行う事に致しました。

どちらも九十二年の年月を経て、かなり老朽化しましたので、今般これを機会に修復したいと思っております。

どうかその旨をご理解戴きまして、今般の修復へのご協力をよろしくお願い致します。

*勸募方法

- 一、改修費用 三千一百万円
 - 一、完成予定 令和二年五月
 - 一、浄財 一口・一万円
- 完成まで募集します！

改修工事順調に進む！

昨年の暮れに、古くなりました大本堂の『天井の照明器具』を新たにLED用の物と交換しました。

以前より明るくなり、また約十年間交換不要という便利さもあり、一層大本堂が輝いて見えます。

これに『須弥壇』『鬼子母神・妙見菩薩・大黒様の御厨子』が完成すれば素晴らしい御寶前になると思えます。

また、すでに宮殿の『畳替え』は終了し、今月には大本堂の『畳』も全て新品に交換となります。

更に雪解けの後、境内の塀の改修工事、その他境内地の整備等、順調に進めていく予定です。

そして、来たる六月二十一日(日)の日蓮大聖人の八百回目のお誕生日の大法要を、蓮華寺檀信徒の皆様のお力で成功させようではありませんか。

ご協力よろしくお願い致します。

当日は、日蓮宗の重鎮の各上人・東北管区並びに青森県内の各上人・東北五県の沢山の檀信徒の方々がお出でになる予定です。

『星祭』お申込みのお知らせ

当山では毎年三月に行われます『星祭』の期間中皆様のご家族のお名前と数え年を記入しました『星』(剣守札)をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散して、一年間無事安泰でありますようにと祈願致します。

その時に、皆様がお受けになります「星」のお申込みは、事務所に置いてあります専用の用紙に、ご家族のお名前・性別・数え年・住所等をお書きの上、お早めにお申込み下さい。

※剣守札(星)【一体・・・二百円】



どうか、檀信徒の皆様は、是非とも毎年この「星」(剣守札)をお申込み戴き、そして、いまだ知らない方がおりましたら、お勧めになりますようお願い致します。

二月十三日(木)より受付します。

永代供養堂

当山会館の三階にあります「永代供養堂」は、今後後を見る事が出来ない仏様をご供養する所です。

まず、当山指定のお位牌の正面に『ご戒名』または『先祖代々之諸精霊』と彫り、裏面には施主名を彫り御寶前にお祀りします。

そして、蓮華寺のお寺が続く限り、永遠にご供養して参ります。

ここでは、毎朝僧侶がお経を上げ、ご命日にはご戒名を読み上げますし、また先祖代々のご供養はお申込みのあった日に読み上げをしています。

永代供養塔

当山境内にあります「永代供養塔」は、今後、後を見る事が出来ない『個人のお骨』また『先祖代々のお骨』を埋骨し、永代に渡りご供養しております。

ここは、毎月僧侶がお経を上げ、ご供養を欠かす事はありませぬ。

☎ 017-776-5840

『御守護』札を

貼付しましょう！

当山で毎年年末に用意致します『御守護札』は、蓮華寺の檀家である証明と、その家をご守護する為のお札ですので、必ず玄関に貼付するようにして下さい。まだ檀家の中でも知らないで、貼付していない家庭も沢山あります。

どうか、今年度より貼付するようにお願い致します。



（一枚五百円）【販売中】

また、その年に家で不幸などがあつた場合でも、御札・御幣等は必ず毎年取り替えるようにして下さい。

☆ 『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用しています。
会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

盛運祈願会へお参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り（俱生靈神符）を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

皆様の中には、自らが参拝してお守りを戴く方、親戚や友人に頼んで戴く方、また直接お寺の事務所でお求めの方と、様々な方法でお守りを戴いている事と思います。

しかし、ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、時間にいくらか余裕のある方は、是非とも盛運祈願会に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はただお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きまして御本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・俱生靈神様に、

『二ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。』と、御札する事が大切なのです。

更に、我々が知らず知らずの間に作つて来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、俱生靈神の守護をより強くする事も忘れてはいけません。

身に着ける「お守り」

当山では、次の三つのお守りを、全檀信徒の皆様にならず身に着けて戴きますようお願いしています。

霊神符



生命に係わる事故や災難から身を守るお守りで、必ず身に着けて、毎月交換して戴きます。

五段のお守り



我々の計り知れない死霊・生霊・野狐・厄神・呪詛の五段の邪気から身を守るお守りで、年に一回交換します。

カード型ご本尊



日蓮宗の大曼荼羅御本尊を小型化したお守りで、右の二つのお守りを、更に強くお護りして戴く為と一緒に身に着け、年に一回交換します。

『位牌壇』募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上席の『位牌壇』に上がりたい方には、数のある限り無料でお譲りしています。どうぞお申込み下さい。

◎詳細は事務所まで ☎0177-77615840

『位牌壇』募集！

二月の行事

一 日(土) 盛運祈願会 午後一時より
 ・毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
 ・自ら進んでお勤めに参加しましょう。

寒修行 二日(日)まで連日(小本堂)
 午後七時より一時間

三日(月) 節分会 午後六時より

十三日(木) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

・お経 [如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)]

八 日(土) 妙見小祭 朝のお勤め中

二十一日(金) 鬼子母神小祭 朝のお勤め中

お詫び

先月の一月二十二日(水)が【甲子^{きのえね}】の大黒様の日
 でしたが、お寺のミスで記載されませんでした。
 此処にお詫び申し上げます。

☆奉仕のお知らせ

三日(月)「節分会」のお手伝いと後片付け
 教宣部男女・午後三時より

*今月は、「節分会」の大有事がありますので、お手
 伝いの方が沢山必要です。

どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。
 ①一般檀信徒の方でご奉仕出来ます方は、当日時間ま
 でにご集合下さい。

- ◎奉仕部長・山田兼補
- ◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

檀信徒研修会は

三月までお休みです

『十三日のお勤め』

に参拝しましょう!

②十三日の『日蓮大聖人様のご命日』のお勤め用に、
 お経練習の「カセットテープ・CD・お経本」を販
 売しています。
 (詳細は事務所まで)